

これまでの成果

- ▶ 気候変動、緩和策、温室効果ガスインベントリに関する情報交換のためのWGIAネットワークプラットフォームを構築しました。
- ▶ 共通課題を特定し、解決策を模索しました。
- ▶ 各国の活動や経験について情報共有をおこないました。
- ▶ 参加国のインベントリ作成状況と改善状況に関する情報交換をおこないました。
- ▶ 高度な算定方法の適用、キーカテゴリー分析、不確実性評価、品質保証/品質管理(QA/QC)などの方法論や作成体制の情報交換を通し、インベントリ改善に貢献しました。
- ▶ 相互学習を通し、他国のインベントリを学ぶことでインベントリ改善に貢献しました。

WGIAのビジョン

- ▶ 原則として、年1回WGIAを開催し、アジア各国の温室効果ガスインベントリに関連するキャパシティ・ビルディングに貢献していきます。
- ▶ アジア各国における温室効果ガスインベントリ向上のためのネットワークを強化していきます。
- ▶ 気候変動に関係した他のプロジェクトとの連携を高めていきます。

主催者:

環境省、
国立研究開発法人 国立環境研究所

連絡先:

国立研究開発法人 国立環境研究所
地球環境研究センター
温室効果ガスインベントリオフィス(GIO)

〒305-8506
茨城県つくば市小野川16-2
Tel: +81-29-850-2777
www-gio@nies.go.jp

WGIA ウェブサイト:

<http://www.nies.go.jp/gio/wgia/index.html>



温室効果ガスインベントリオフィス(GIO) -日本のGHGインベントリ作成組織-

GIOは毎年の日本の温室効果ガス排出・吸収目録(インベントリ)作成、国連気候変動枠組条約及び京都議定書に対する審査対応などの関連業務の遂行、アジア各国のGHGインベントリ構築・改善に関するキャパシティ・ビルディングへの貢献を目的として、2002年7月に国立環境研究所 地球環境研究センターに設置されました。

WGIA

Workshop on Greenhouse Gas Inventories in Asia

アジアにおける 温室効果ガスインベントリ整備に関する ワークショップ

WGIAはアジア諸国の温室効果ガスインベントリ作成支援を目的とし、地域の経験や情報を共有することで、温室効果ガスインベントリ作成能力を向上させ、インベントリの品質改善を図ることを目指したワークショップです。

背景と目的

国連気候変動枠組条約 (UNFCCC) の下、すべての締約国は温室効果ガスの排出・吸収量の目録 (インベントリ) を作成し、報告する義務を負っています。排出量を削減し、吸収量を増加させるための効果的で確実な対策を政策決定者が講じるには、温室効果ガスの排出・吸収量の動向に関する情報が必要であるため、温室効果ガスインベントリは非常に重要です。

アジアにおける温室効果ガスインベントリ整備に関するワークショップ (WGIA) は、アジア諸国の温室効果ガスインベントリ作成支援を目的とし、地域の経験や情報を共有することで、温室効果ガスインベントリ作成能力を向上させ、インベントリの品質改善を図ることを目指したワークショップです。

同ワークショップは、環境省と国立環境研究所の共催の下、2003年から毎年開催されています。

隔年更新報告書 (BUR) と国際的協議・分析 (ICA)

後発発展途上国と小島嶼国を除く非附属書I国は、温室効果ガスインベントリや緩和活動などの情報を含む隔年更新報告書 (BUR) を2年に1度、提出することになりました。また、UNFCCCは、BURの国際的協議・分析 (ICA) を実施します。ICAは緩和活動とその効果の透明性を高めることを目的としています。

また、ICAは技術専門家チーム (TTE) による技術分析 (TA) と促進的な意見の共有 (FSV) という2つのステップからなります。

セッション

以下のセッションを通じて、インベントリ作成能力の向上とインベントリ品質改善を図ります。

プレナリー・セッション： インベントリ関連事項についての情報交換、最新の国家温室効果ガスインベントリを含むBUR作成におけるメンバー国の進捗状況の報告、およびBURのICAに関する議論など

分科会： 分野特有の問題とそれを解決するための方法を議論

相互学習： ニカ国間で、データを含む温室効果ガスインベントリを交換し、質問やコメントをお互いに交換し、他国のインベントリから学び、自国の次のインベントリ改善につなげる

ハンズオン・トレーニング： 特定カテゴリー用のIPCCインベントリソフトウェアを用いた計算練習など

参加国

ブルネイ、カンボジア、中国、インド、インドネシア、日本、韓国、ラオス、マレーシア、モンゴル、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム



2019年にシンガポールで開催されたWGIA17には、約100名の専門家と政府関係者が参加しました。

これまでのWGIA

	年	国
WGIA1	2003年11月	タイ・ブーケット
WGIA2	2005年2月	中国・上海
WGIA3	2006年2月	フィリピン・マニラ
WGIA4	2007年2月	インドネシア・ジャカルタ
WGIA5	2007年9月	マレーシア クアラルンプール
WGIA6	2008年7月	日本・つくば
WGIA7	2009年7月	韓国・ソウル
WGIA8	2010年7月	ラオス・ビエンチャン
WGIA9	2011年7月	カンボジア・プノンペン
WGIA10	2012年7月	ベトナム・ハノイ
WGIA11	2013年7月	日本・つくば
WGIA12	2014年8月	タイ・バンコク
WGIA13	2015年8月	インドネシア・バリ
WGIA14	2016年7月	モンゴル・ウランバートル
WGIA15	2017年7月	ミャンマー・ネピドー
WGIA16	2018年7月	インド・ニューデリー
WGIA17	2019年7月	シンガポール



相互学習の様子